

本部長指示事項

- 全国的に新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、本市においても新規感染者が増加しております。新規感染者の発表者数は本日、11月29日で951人、新規感染者の7日間合計は、本日時点で4,853人と、この夏の第7波のピークの12,000人超には及びませんが、昨年の冬の第6波のピーク時の6,000人超に迫る勢いで現在も増加傾向にあります。

入院者数については187人であり、今夏のピークの485人に比べれば少ないですが、医療提供体制への負荷は増しており、注意が必要と感じています。

- この状況に、国及び県は対策本部会議を開催し、今後の対応について協議いたしました。

- 国は、現下の感染拡大への対応については、今夏のオミクロン株と同程度の感染力・病原性の変異株によるものであれば、新たな行動制限を行うのではなく、社会経済活動を維持しながら、医療への負荷に直結する重症化リスクのある高齢者、妊婦、基礎疾患のある方を守ることに重点を置いて、感染拡大防止措置を講じるとともに、季節性インフルエンザの同時流行も想定した保健医療体制を準備することとしています。

また、オミクロン株に対応し、外来医療等の状況に着目したレベル分類に見直しをした上で、各段階に応じた感染拡大防止措置を講じることとしています。

- 千葉県では国が示したレベル分類に見直しをするとともに、「千葉県オンライン診療センター」の開設、抗原検査キット配付事業の再開、陽性者登録センターの対応能力の増強などの医療提供体制の整備を図っています。

- これら県の施策に加え、本市においても各担当部署においては、これから申し上げる対応をお願いします。

・保健所においては、年末年始においても通常どおりの支援が陽性者に対して滞りなく実施できるよう準備してください。

・感染が拡大し、発熱外来がひっ迫した際、特にリスクの高い高齢者が発熱外来の受診が難しくなり、保健所の支援を受けられないことが懸念されますので、それに備えて、65歳以上の有症状者の方を対象に、年末年始も含め、ご自宅で無料のPCR検査ができる事業の実施に向け調整を進めてください。

- ・高齢・障害施設等についても、従事者や入所者の感染が11月以降増加傾向にあり、クラスターも複数の施設で発生しているところです。
重症化リスクの高い高齢者・障害者を守るため、施設従事者等の抗原検査について、12月から検査回数を月2回から8回に拡充することとしており、引き続き、感染の早期発見や拡大防止に努めてください。

- ・新型コロナウイルス感染症による影響のなか、原油価格・物価高騰により、市内中小企業の経営環境が悪化しており、事業変革の停滞や年末年始の資金繰りなどが懸念されますので、国等各種支援制度や「中小企業者緊急特別支援金」などを有効に活用いただけるよう、支援金の対象期間に9月から11月までを追加し、申請期間を1月末まで延長したことに合わせて、経営相談の実施や支援金申請サポートの案内などについても、市内中小事業者の皆様への周知をお願いします。

○ オミクロン株対応ワクチン接種については、本年9月から1・2回目接種を終えた12歳以上の全ての方を対象に実施しておりますが、本年11月27日現在、対象者約80万人のうち約19万6千人の方が接種を完了しています。

オミクロン株対応ワクチンの接種については、接種体制の一層の強化や、個別に接種勧奨を行うなど周知・啓発に努め、特に、年末までの接種を加速化させるようお願いします。

また、重症化リスクの高い高齢者や障害者などが入所する施設等において、早期に接種が実施できるよう医療機関等とのマッチングを行うなど、きめ細かな支援をお願いいたします。

○ これから、年末年始をむかえ、帰省、旅行、イベント等、社会経済活動の活発化による接触機会の増加が感染状況に与える影響が懸念されます。

市民の皆様におかれましては、発熱する前に「解熱鎮痛剤」や「新型コロナウイルスの抗原検査キット」の備蓄についてご検討をお願いいたします。特に抗原検査キットについては、12月11日まで市が購入費用助成を行っておりますので、お早めに準備をお願いいたします。

医療提供体制をひっ迫させないため、重症化リスクの少ないとされている65歳未満で、症状の軽い方は、できる限り自己検査をしていただき、新型コロナウイルス陽性の場合は陽性者登録センターへの登録についてご協力をお願いいたします。

クリスマスやお正月を楽しみにされていらっしゃる方も多いと思います。感染症対策は、これまでの知見を踏まえ、市民お一人お一人が、「感染しない、感染させない」という場面、場面での対策が必要と考えます。

「三つの密」の回避、手洗い等の手指衛生、効果的な換気等、基本的な感染症対策の確認を今一度、市民、事業者の皆様をお願いいたします。特に、高齢者や基礎疾患のある方は、いつも会う人と少人数で会う等、感染リスクを減らす行動を心がけてください。そして、ご家族の方などは、高齢者に感染を広げないように、高齢者の方と会う時や病院内ではマスクの着用をお願いします。